

リヤスカート 取付要領書

ライズ品番:D2641-61310-XX / MSD43-B1003/4
ロッキー品番:D2641-65110-XX

設定型式:A2#0A-GB#V/A2#0S-GB#V 設定グレード:全車

このたびは、モデリスタ商品をお買い上げ頂きましてありがとうございます。
本書は、リヤスカートの取付要領について記載してあります。
取り付け前に必ずお読み頂き、正しい取り付けを行なって下さい。

取り付け上の注意事項

- 取り付け前に車両に傷がついていないか点検して下さい。
- エンジンがかかっている状態では絶対に作業を行なわないで下さい。
- 車両部品の取り外しに際して、紛失や混乱がない様に部品ごとに整理して、復元する際間違えない様配慮して下さい。また、部品に傷を付けたりしない様に取り扱いに注意して作業を行なって下さい。
- 本書で指示した部品以外は、取り外さない様注意して下さい。
- 商品を取り付ける部分の汚れ、ゴミ、ホコリをウエスで拭き取って下さい。
- 車両へ商品を取り付ける際は、左右1名づつ2名で作業を行なって下さい。
- エンドモール(両面テープ付き)・両面テープを貼り付ける部分は、必ず脱脂して下さい。脱脂作業を怠ると両面テープを接着しても剥がれる場合があります。
- 両面テープの接着力促進剤として、必ず両面テープ用プライマーを塗って下さい。
(PACプライマー-K500を本品に添付)
- 重要** プライマーの効力を発揮させる為、塗布後、常温で10分間以上放置し乾燥させて下さい。
- 重要** ■両面テープは、外気温が15℃以下になると接着力が低下しますので、両面テープ及び被接着面をドライヤー等で温めてから貼り付け作業を行なって下さい。
- 両面テープのプライマーは、溶剤が揮発するため速やかに作業を終了して下さい。
- 両面テープのプライマーは、塗装面を黄変させますので必ず塗装面をマスキングし、はみだしたプライマーは、シリコンオフ等で完全に拭き取って下さい。
- ボディーコートが塗布されている車両は塗装用コンパウンドでボディーコートを剥離して下さい。(必ずマスキングし、なるべく細かい番手で行なう。)ボディーコートが塗布されている車両は脱脂作業を行なっても、プライマーの接着力促進効果を十分に発揮できない場合があります。ボディーコート除去後は、シリコンオフ等で脱脂をきちんと行なって下さい。
- 重要** ■両面テープの圧着を充分に行なって下さい。49N(5kgf)以上
- 重要** ■フェンダーアーチ部等のビス本締めは両面テープ貼り付け後3時間以上放置後行なって下さい。

取り付け完了後の点検・注意事項

- リヤスカートが、車両バンパーに確実に共締めされているか点検して下さい。
- 両面テープの全ての離型紙が剥がされ、確実に圧着されているか点検して下さい。
- 取り付け完了後、リヤスカート及び車両部品に傷がついていないか点検して下さい。
- 取り付け完了後、最低3時間は強い力をかけたり、雨等で濡れない様注意して下さい。
(両面テープの剥がれ、車両バンパーとリヤスカートとの間に隙間が発生する恐れがあります。)

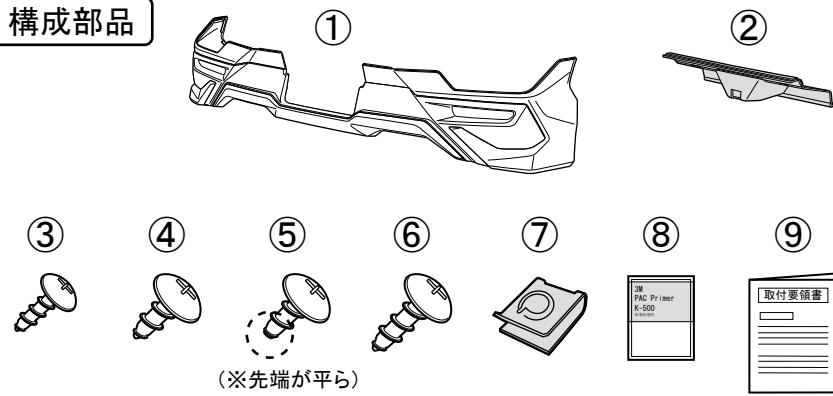


アドバイス…この取付要領書では、スピーディーに安全な作業をして頂く上で知っておいて頂きたい事を左図マークで表示しております。

ライズ/ロッキー (ADVANCE BLAST STYLE) モデルスタ バージョン

ライズ品番: D2641-61310-XX
 リヤスカート MSD43-B1003/4
 ロッキー品番: D2641-65110-XX

構成部品



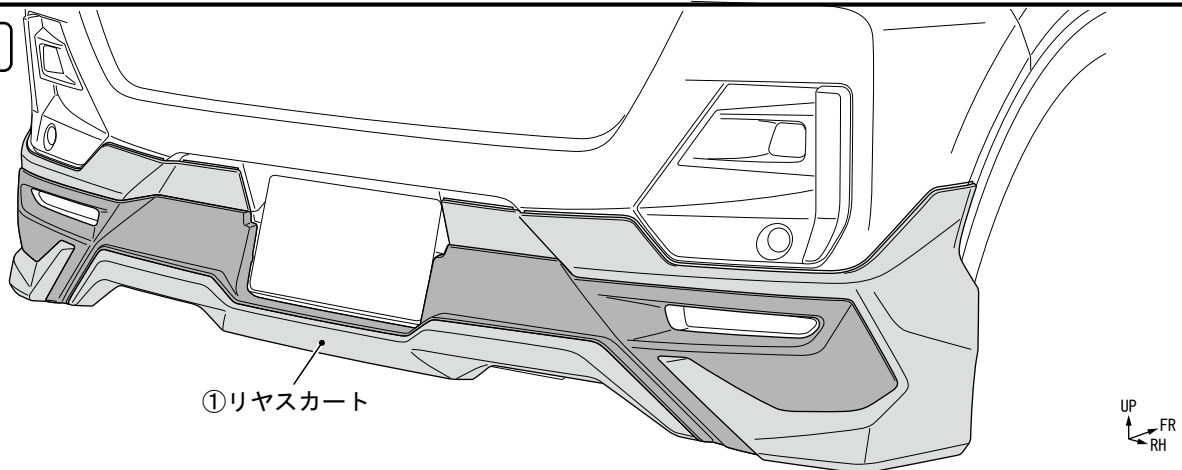
(※先端が平ら)

No.	品名	個数
①	リヤスカート	1
②	リテーナー	1
③	Aタッピングスクリュー(M4×12)	2
④	Aタッピングスクリュー(M5×12)	2
⑤	Bタッピングスクリュー(M5×12)	3
⑥	Aタッピングスクリュー(M5×16)	2
⑦	Uナット(M5)	7
⑧	PACプライマー-K500	1
⑨	取付要領書	1

⚠ 注意

- ・ 取り付け作業を行なう前に、必ずマフラー部が冷めている事を確認して下さい。マフラー部に熱を持っている場合、ヤケドをすることがありますので十分御注意下さい。
- ・ 本製品とRRカラードフェンダーを同時装着する場合は、RRカラードフェンダー、本製品の順で取り付けてください。

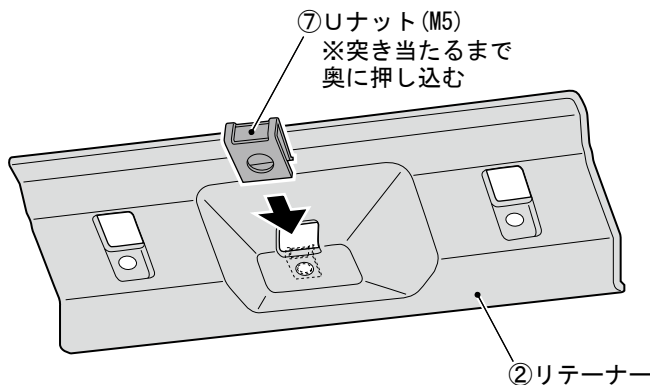
取付概要



取付手順

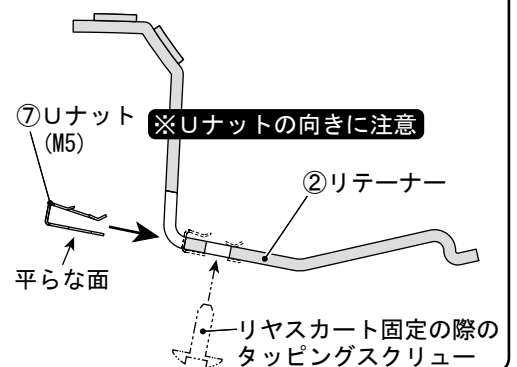
(1) 部品の取り付け

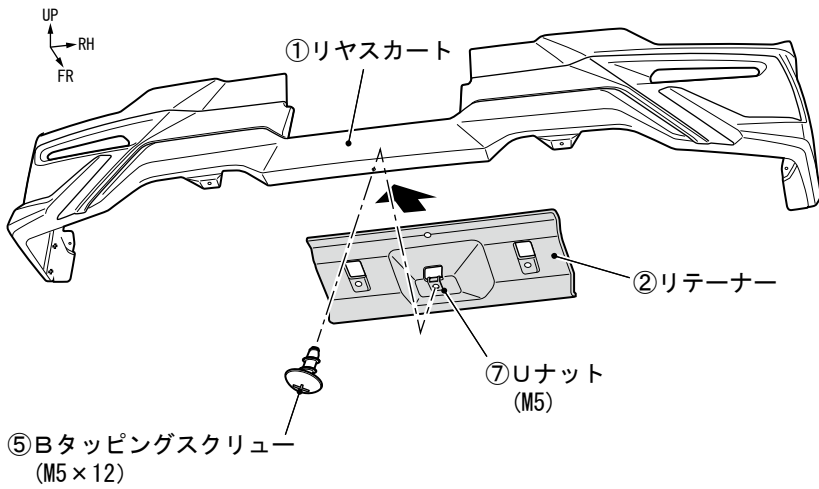
リヤスカート固定Uナット



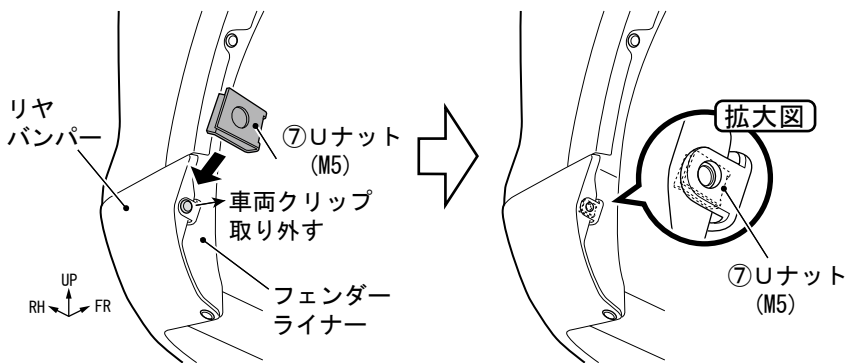
1. ②リテーナー中央切り欠き部に、⑦Uナットを差し込む。
 ※Uナットの向きに注意(下図参照)

リヤスカート固定Uナット取付断面図



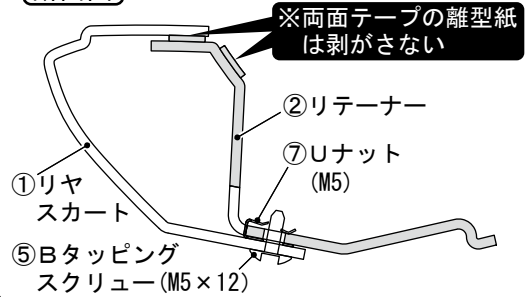


RH図示 ※LHも同様に



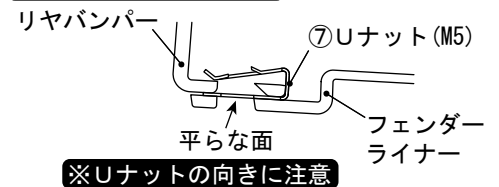
2. ①リヤスカート下面中央部の取付穴と②リテーナーのUナットを合わせ⑤Bタッピングスクリュー (M5×12) で①リヤスカートと②リテーナーを仮組する。
(左図及び下図参照)

断面図

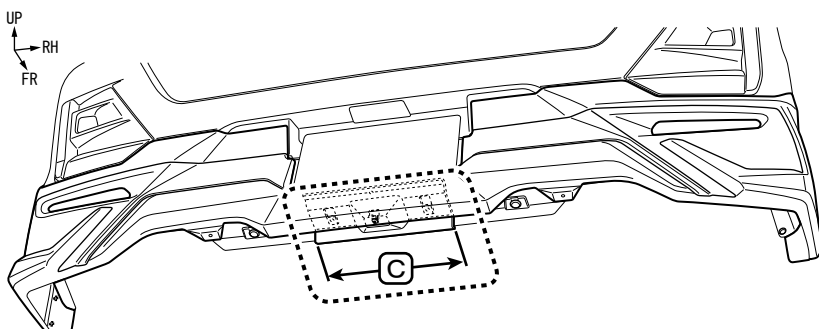
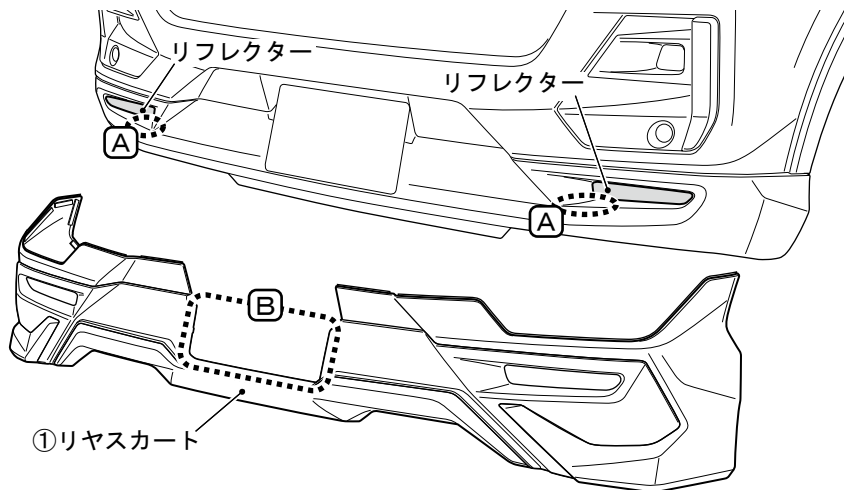


3. リヤバンパーフェンダーアーチの車両クリップ (左図の位置) を取り外し、フェンダーライナーをめくって、⑦Uナットを取り付ける。(左右2カ所)
(左図及び下図参照)

⑦Uナット取付断面図

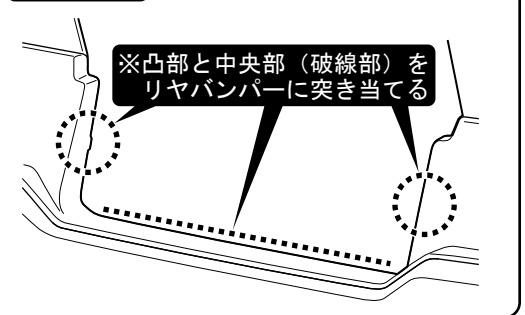


(2) 仮組とプライマーの塗布



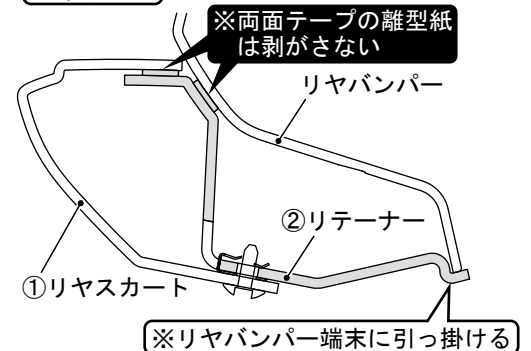
1. リヤバンパーリフレクター前の棚 (左図 A 部) に、①リヤスカートを載せる様に被せ、(B 部) の凸部と中央部をリヤバンパーに突き当てる。

B部拡大図



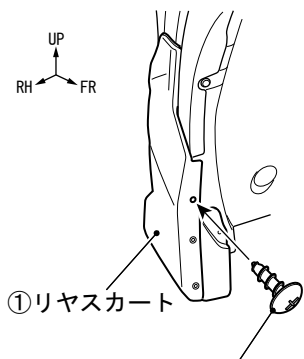
2. リヤバンパー末端に、①リヤスカートの②リテーナー角を引っ掛ける。
(左図及び下図参照)

C部断面図



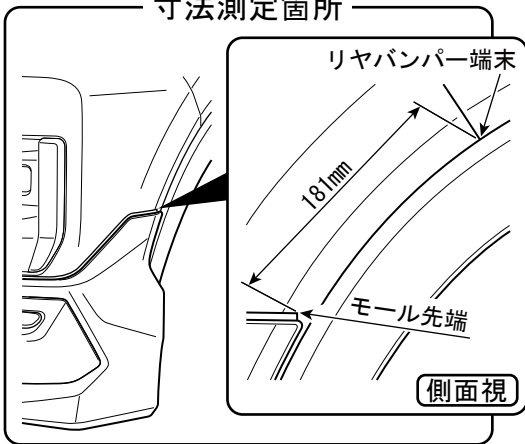
RH図示

※LHも同様に



①リヤスカート
⑥A タッピングスクリュー (M5×16)

寸法測定箇所



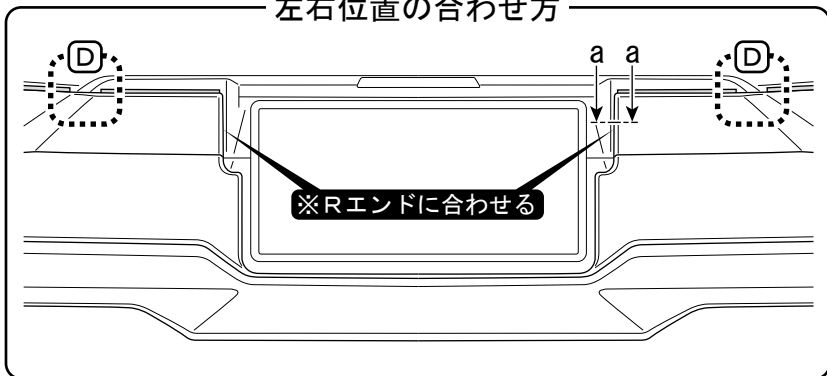
側面視

3. (1)-3 で取り付けしたフェンダーアーチ部⑦Uナットの位置に①リヤスカートの穴位置を合わせて、⑥Aタッピングスクリュー(M5×16)で仮固定する。
(左図参照)

寸法確認測定箇所

※左図の箇所で取付位置の寸法を確認して下さい。(寸法181mm)
確認の際に物差し等で車両に傷を付けない様注意して下さい。

左右位置の合わせ方

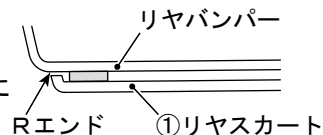


4. ライセンスプレート横の①リヤスカート端面を、リヤバンパーのRエンドに合わせる。(左図及び下図参照)

a-a断面図

RH図示

※LHも同様に

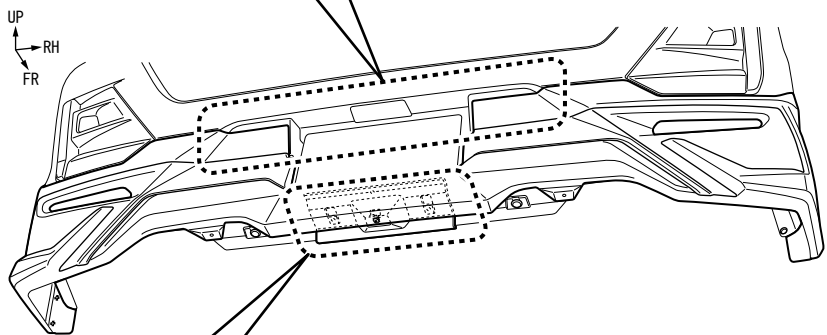
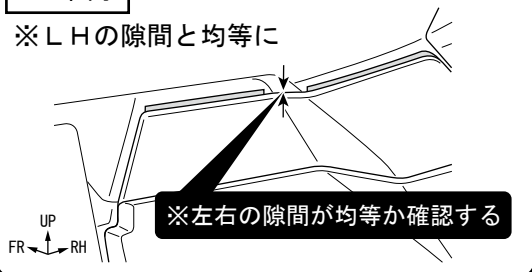


※(D部)の①リヤスカート端面とリヤバンパーの隙間が左右均等になっている事を確認する。(左図及び下図参照)

D部上面視

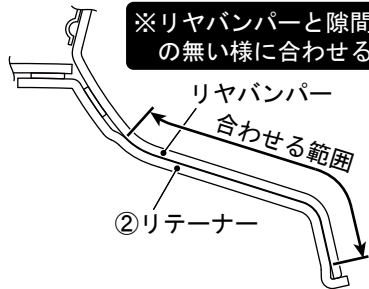
RH図示

※LHの隙間と均等に

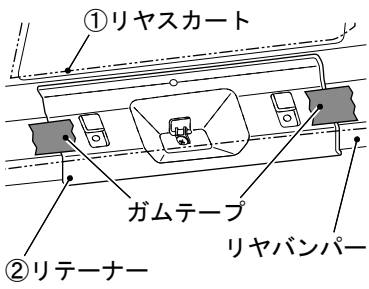


リテーナー部の合わせ方

※リヤバンパーと隙間の無い様に合わせる



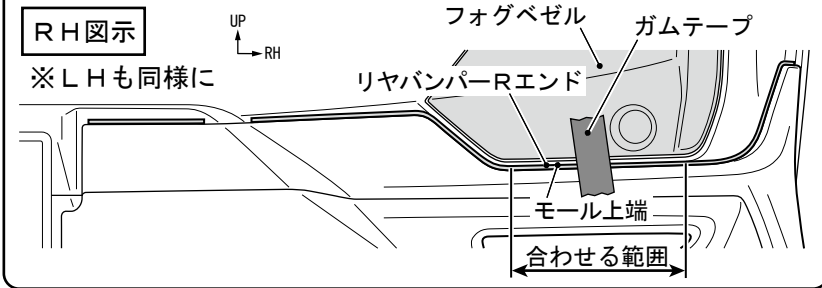
〈側面図〉



〈透視図〉

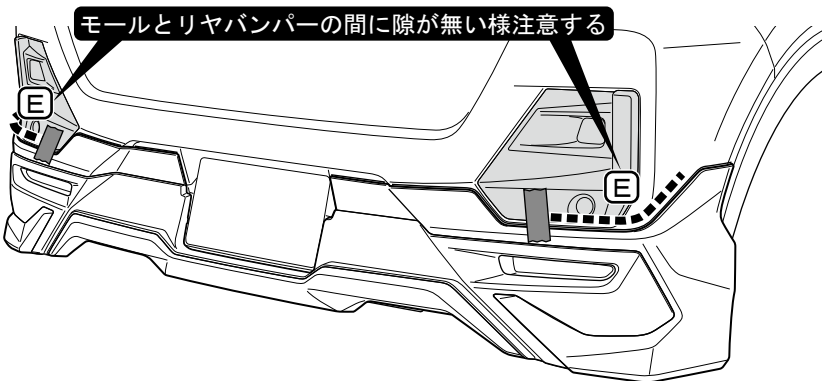
5. ②リテーナーをリヤバンパー形状に隙の無い様合わせ(左図の範囲)、ガムテープ等で仮固定する。

上下位置の合わせ方



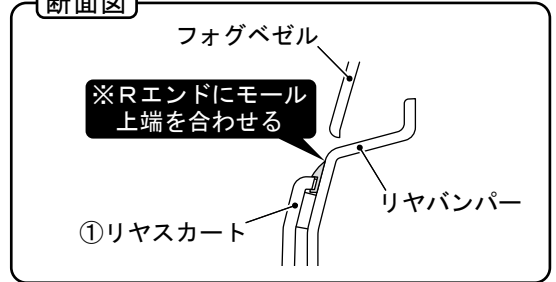
注意

上下位置の合わせは重要な工程です。
モールとリヤバンパーの間に隙が無い様注意して下さい。

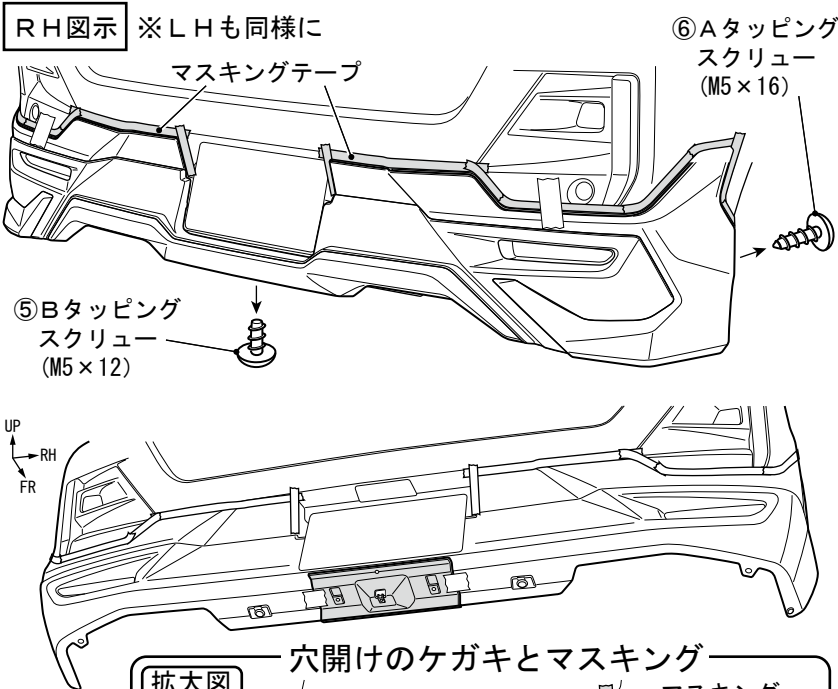


6. リヤバンパーフォグベゼル下のRエンドに、①リヤスカートのエンドモール (以下モールと省略) 上端を合わせる。
(左図及び下図参照)

断面図



※ (左図 E) 部に隙が無い様注意 して
ガムテープ等で仮固定する。
(左図参照)



7. プライマー塗布の為に①リヤスカートモール上端にマスキングテープを貼り付ける。(左図参照)

8. ①リヤスカート下面中央の⑤Bタッピングスクリュー (M5×12) と、フェンダーアーチ部の⑥Aタッピングスクリュー (M5×16) を取り外す。

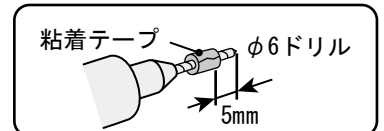
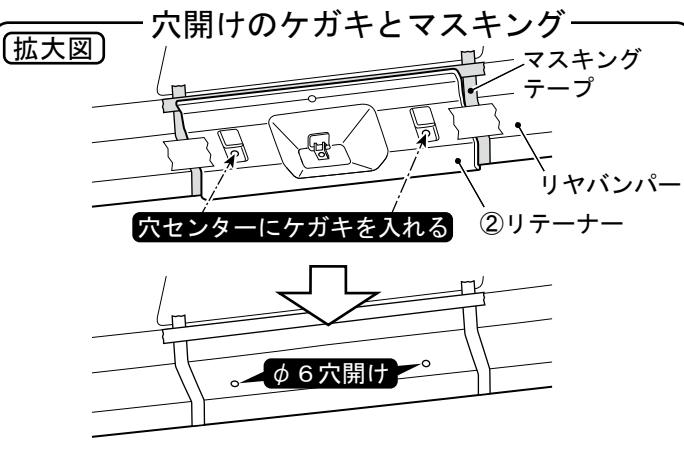
9. ②リテーナーをリヤバンパーに仮固定したままの状態①リヤスカートのみを一旦取り外し、②リテーナーとリヤバンパー形状に隙の無い事を確認する。

リヤバンパーに穴開けを行なう為に、②リテーナーの穴センターでケガキを入れる。

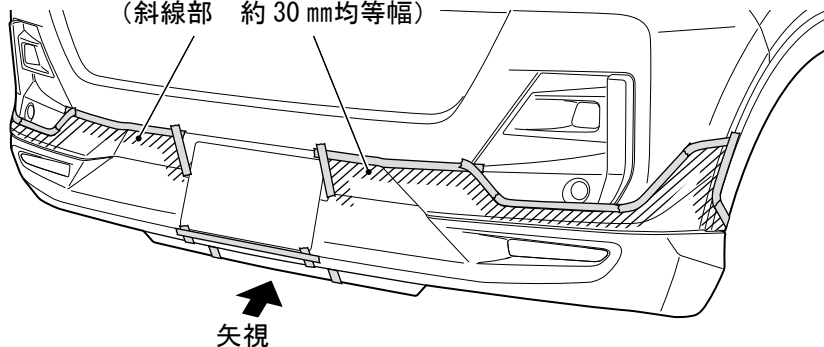
②リテーナー両側面部と上部に、取り付けの位置出しとプライマー塗布の為に、マスキングテープを貼り付ける。
(左図参照)

10. ②リテーナーを一旦取り外し、ケガキの位置でリヤバンパーに、φ6の穴を開ける。(左図斜線部)

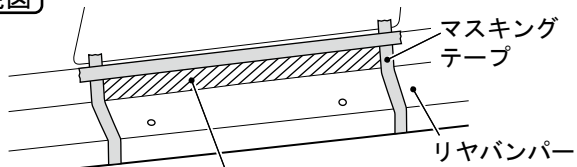
ドリルを使用する場合のストッパー



脱脂及び⑧PAC プライマー K500 塗布範囲
(斜線部 約 30 mm均等幅)



矢視図



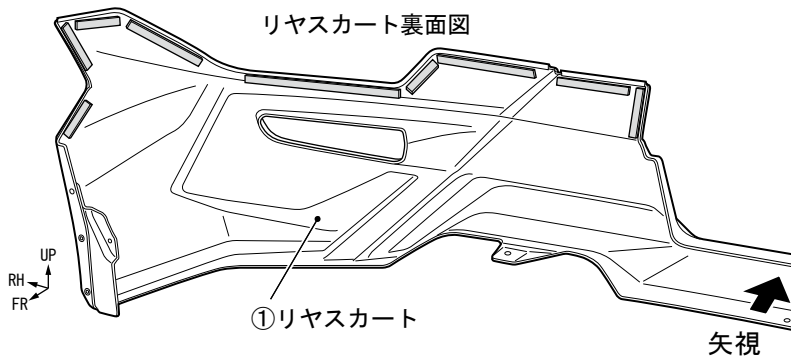
脱脂及び⑧PAC プライマー K500 塗布範囲
(斜線部 約 30 mm均等幅)

11. 両面テープ貼り付け部を脱脂し、⑧ PACプライマーK500を塗布する。
(左図斜線部)

👉 アドバイス

- ⑧PACプライマーK500は、次の工程(12.)で①リヤスカートにも使用します。作業に間が空く場合は揮発性が高いので速やかに袋に戻し揮発を抑えて下さい。

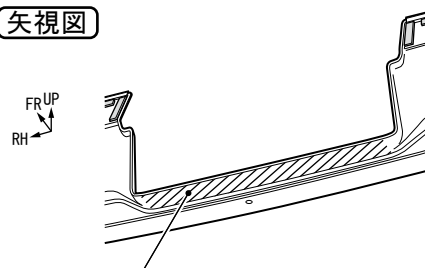
リヤスカート裏面図



①リヤスカート

12. ①リヤスカート中央部、②リテーナーに載る部分の両面テープ貼り付け部を脱脂し、⑧PACプライマーK500を塗布する。(下図斜線部)

矢視図



脱脂及び⑧PAC プライマー K500 塗布範囲
(斜線部 約 30 mm均等幅)

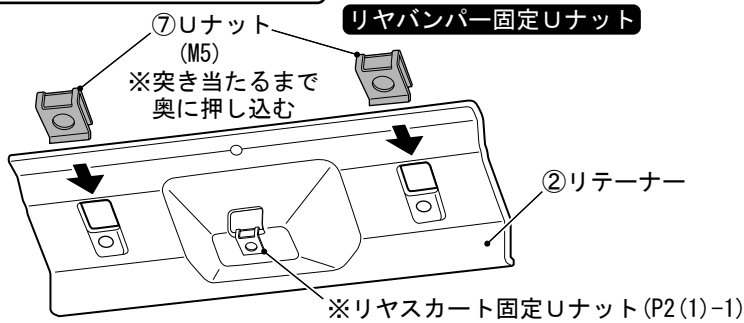
👉 アドバイス

- ⑧PACプライマーK500は特に白色塗装面を黄変させますので、マス킹するか、はみ出したプライマーは、シリコンオフ等で拭き取って下さい。
- ⑧PACプライマーK500塗布後は、常温で10分以上放置し乾燥させて下さい。
- ボディーコート処理されている車両は、マス킹をして両面テープ貼り付け部分を塗装用コンパウンドで除去して下さい。

⚠️ 注意

脱脂及びプライマーの塗布は重要な作業です。
不十分な場合、浮き剥がれの要因となる恐れがあります。

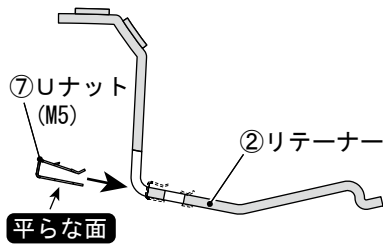
(3) リテーナーの取り付け



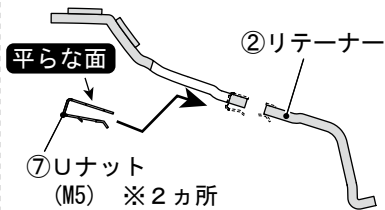
⑦Uナット取付断面図

リヤスカート固定Uナット

※P2(1)-1で取り付け済

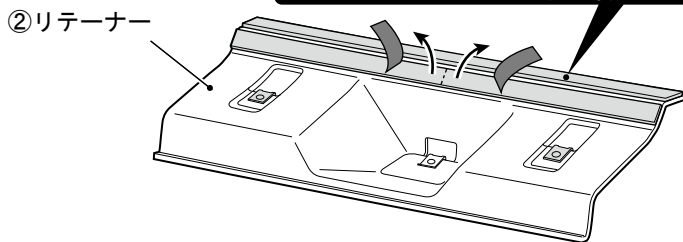


リヤバンパー固定Uナット

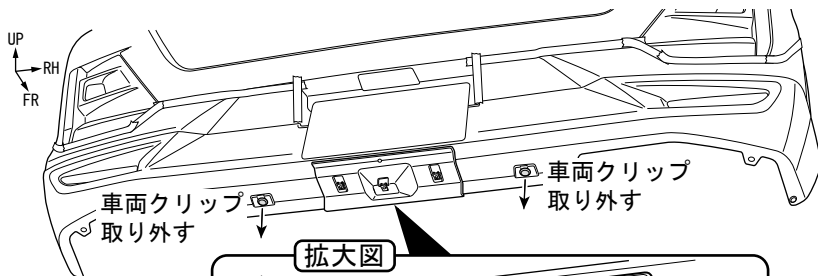
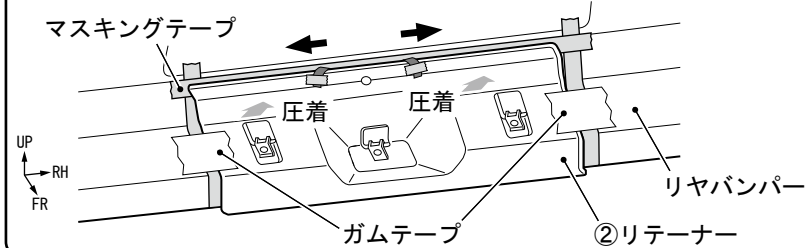


※Uナットの向きに注意：中央と左右は逆になります

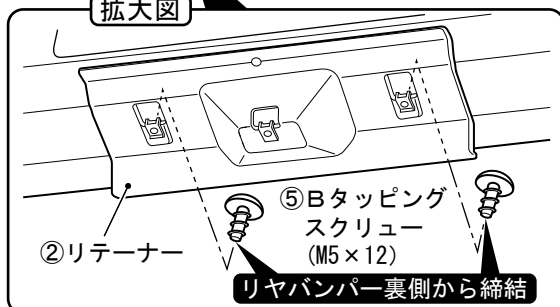
※この両面テープの離型紙は剥がさない



離型紙を引き抜き圧着

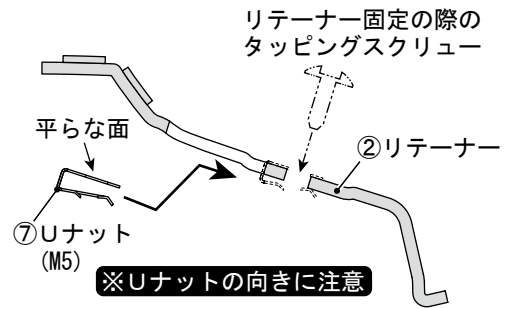


拡大図



- ②リテーナー左右の切り欠き部に、⑦Uナットを差し込む。(2カ所)
※Uナットの向きに注意(下図参照)

リヤバンパー固定Uナット取付断面図



- ②リテーナー両面テープ離型紙(左図)を中央から外方向へ一部剥がし表面に折り返してマスキングテープを貼り付ける。
- ②リテーナーを取り付け位置出しのマスキングテープに合わせ、穴位置が合っている事を確認し、仮合わせ手順と同様にリヤバンパーの形状に、隙の無い様合わせガムテープ等で仮固定する。(左図参照)
- ズレが無い事を確認して、両面テープ離型紙を矢印(➡)の方向に引き抜き圧着する。(左図参照)
※離型紙を引き抜く際に、取付位置が変わらない様に注意して下さい。

アドバイス

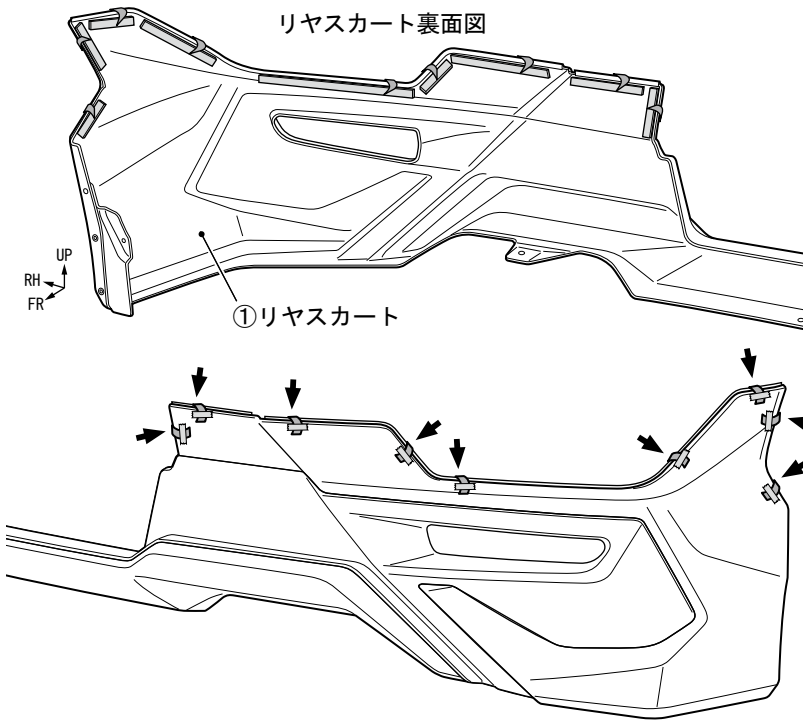
- 両面テープの貼り直しをすると、接着力が極端に低下しますので、気を付けて作業を行なって下さい。
- 両面テープの圧着は49N(5kgf)以上の力で行なって下さい。

- ②リテーナー周りのマスキングテープを剥がす。
- リヤバンパー下面の車両クリップ(2カ所)を取り外し、リヤバンパー裏に手を入れて⑤Bタッピングスクリュー(M5×12)で、②リテーナーを固定する。(2カ所)
※リヤバンパー裏に手を入れる際、火傷ケガに十分御注意下さい。
- 車両クリップ(2カ所)を元に戻す。

(4) リヤスカートの取付準備

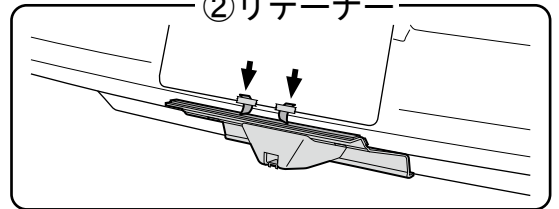
RH図示 ※LHも同様に

リヤスカート裏面図



- ①リヤスカートの両面テープ離型紙を一部剥がし、表面に折り返してマスキングテープを貼り付ける。
- リヤバンパーに取り付けた②リテーナー両面テープ離型紙を、中央から外方向へ一部剥がし、ライセンスプレート面にマスキングテープで貼り付ける。
(下図参照)

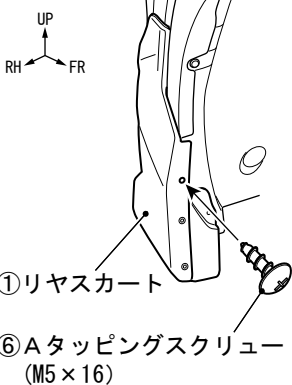
②リテーナー



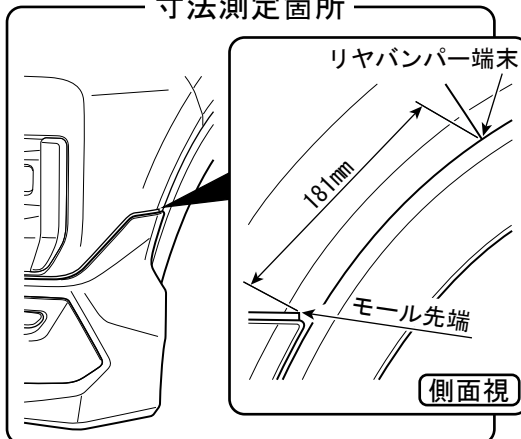
(5) リヤスカートの取り付け

RH図示

※LHも同様に



寸法測定箇所



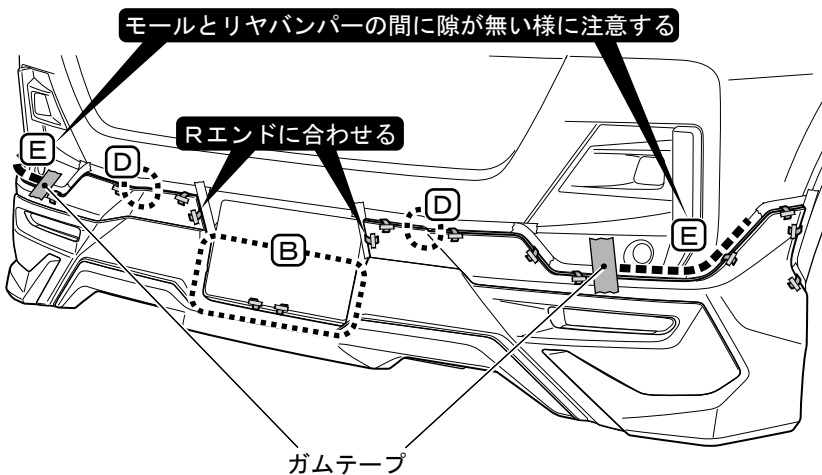
寸法確認測定箇所

※左図の箇所で取付位置の寸法を確認して下さい。(寸法181mm)
確認の際に物差し等で車両に傷を付けない様に注意して下さい。

- ①リヤスカートを、②リテーナーに載せる様に注意してリヤバンパーに被せフェンダーアーチ部を、⑥Aタッピングスクリュー(M5×16)で仮固定する。
(左図参照)

- 仮組と同様の手順で、リヤバンパーのフォグベゼル下のRエンドに、①リヤスカートのモール上端を合わせる。

断面図

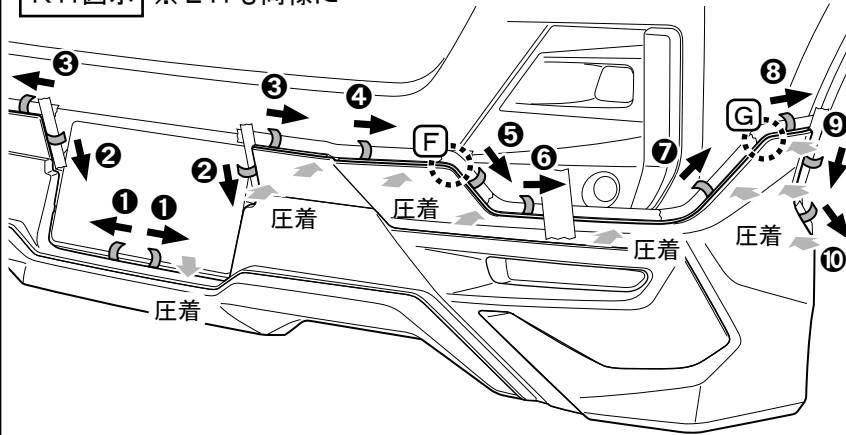


- ※・E部に隙が無い様注意する。
- ・ライセンスプレート横の端面をRエンドに合わせる。
- ・D部の隙間が左右均等であることを確認する。
- ・B部の凸と中央部をリヤバンパーに突き当てる。

左右のバランス、隙、ズレが無い事を確認してガムテープ等で仮固定する。
(左図参照)

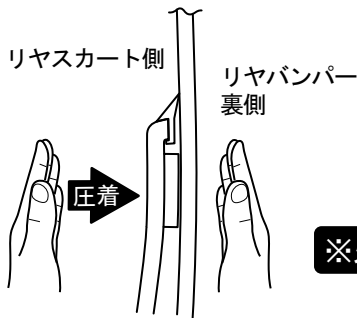
※離型紙を引き抜く順序（左右均等に）

RH図示 ※LHも同様に



※ F G 部の圧着はモールを巻き込まない様に、
④ ⑦ の離型紙でモールを起こしながら、注意
して引き抜き圧着して下さい。

両面テープ②～⑩の圧着



リアバンパー裏側に手を入れて
バンパーが逃げないように、挟み
込んで圧着を行なって下さい。

※火傷、ケガに十分御注意下さい。

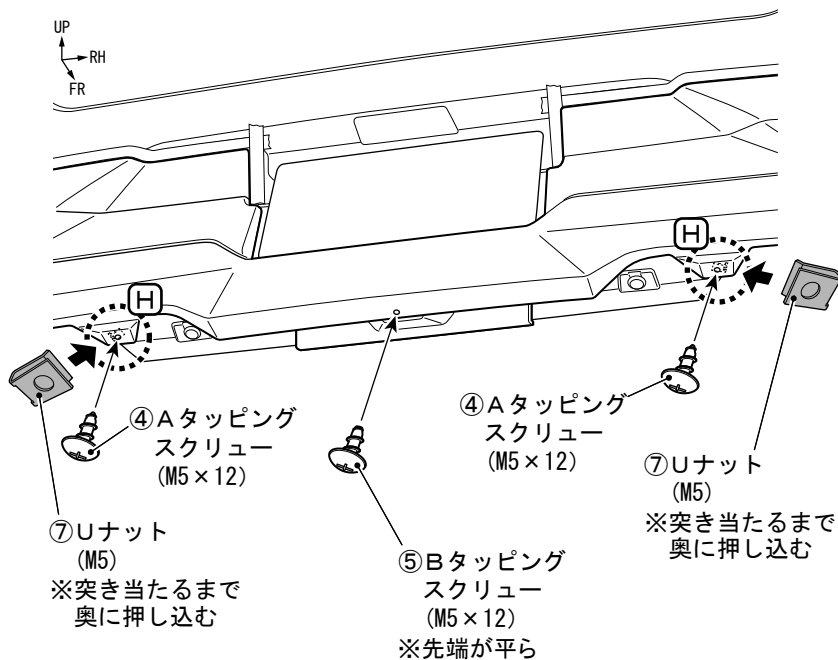
3. 左右のバランス、隙、ズレが無い事を
確認して①から順に両面テープ離型紙
を中央部から矢印の方向に引き抜き、
圧着する。

※離型紙を引き抜く際に、①リヤスカ
ートの取り付け高さが変わらない様に注
意して下さい。

※②～⑩の両面テープは、リヤバンパー
裏側に手を入れて圧着して下さい。

アドバイス

- ・両面テープの貼り直しをすると、接着力
が極端に低下します。設定位置に確実に
取り付けてください。
- ・離型紙が途中で切れない様に、①リヤス
カートを少し浮かしながら離型紙を引き
抜いて下さい。
- ・両面テープの圧着は、49N(5kgf)以上の
力で行なって下さい。

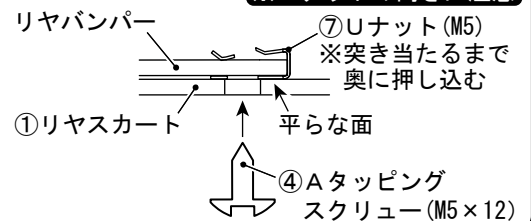


4. ①リヤスカート下面中央部の取付穴を
⑤Bタッピングスクリュー (M5×12) で
仮締めする。（左図参照）

5. ①リヤスカート下面取付穴（左図 H
部）に位置を合わせて、⑦Uナットを
リアバンパーに差し込み、④Aタッ
ピングスクリュー (M5×12) で仮締めする。
（左図及び下図参照）

H部断面図

※Uナットの向きに注意

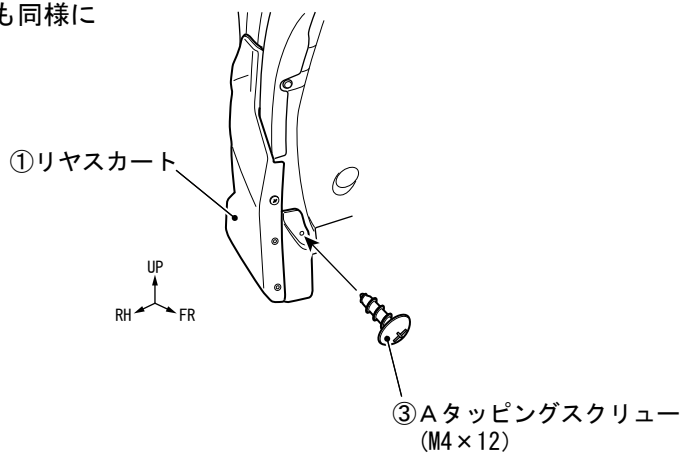


アドバイス

下穴を開ける際は、穴の中心を狙い、ケガキ
針ないしは、画鋸を用いて行なって下さい。

RH図示

※LHも同様に



6. フェンダーアーチ部の、穴位置に合わせて③Aタッピングスクリュー(M4×12)で仮締めする。(左図参照)

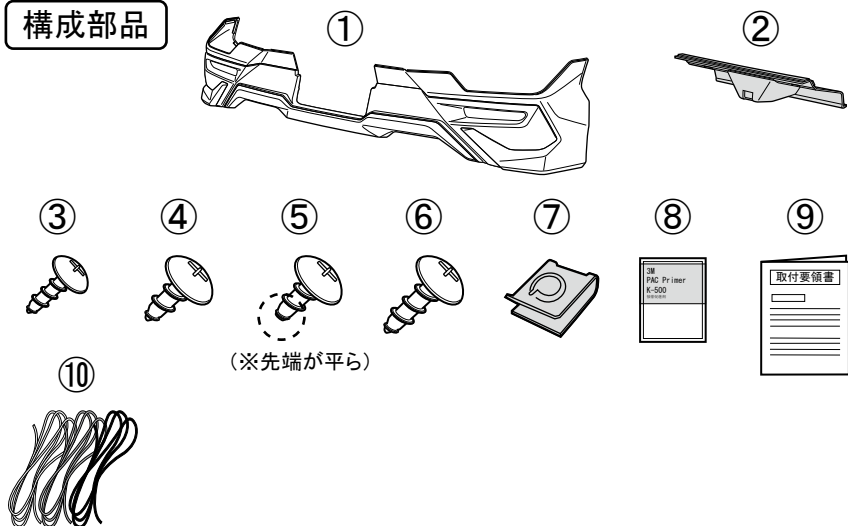
👉 アドバイス

下穴を開ける際は、穴の中心を狙い、ケガキ針ないしは、画鋸を用いて行なって下さい。

7. 全てのマスキングテープを剥がす。
8. 両面テープ貼り付け位置を再圧着する。
9. 両面テープ貼り付け後、3時間以上後全てのタッピングスクリューを本締めする。

リヤスカート素地品の塗装手順

構成部品



No.	品名	個数
①	リヤスカート	1
②	リテーナー	1
③	Aタッピングスクリュー(M4×12)	2
④	Aタッピングスクリュー(M5×12)	2
⑤	Bタッピングスクリュー(M5×12)	3
⑥	Aタッピングスクリュー(M5×16)	2
⑦	Uナット(M5)	7
⑧	PACプライマー-K500	1
⑨	取付要領書	1
⑩	エンドモール	Lグレー:1 グレー:1 ブラック:1

塗装作業

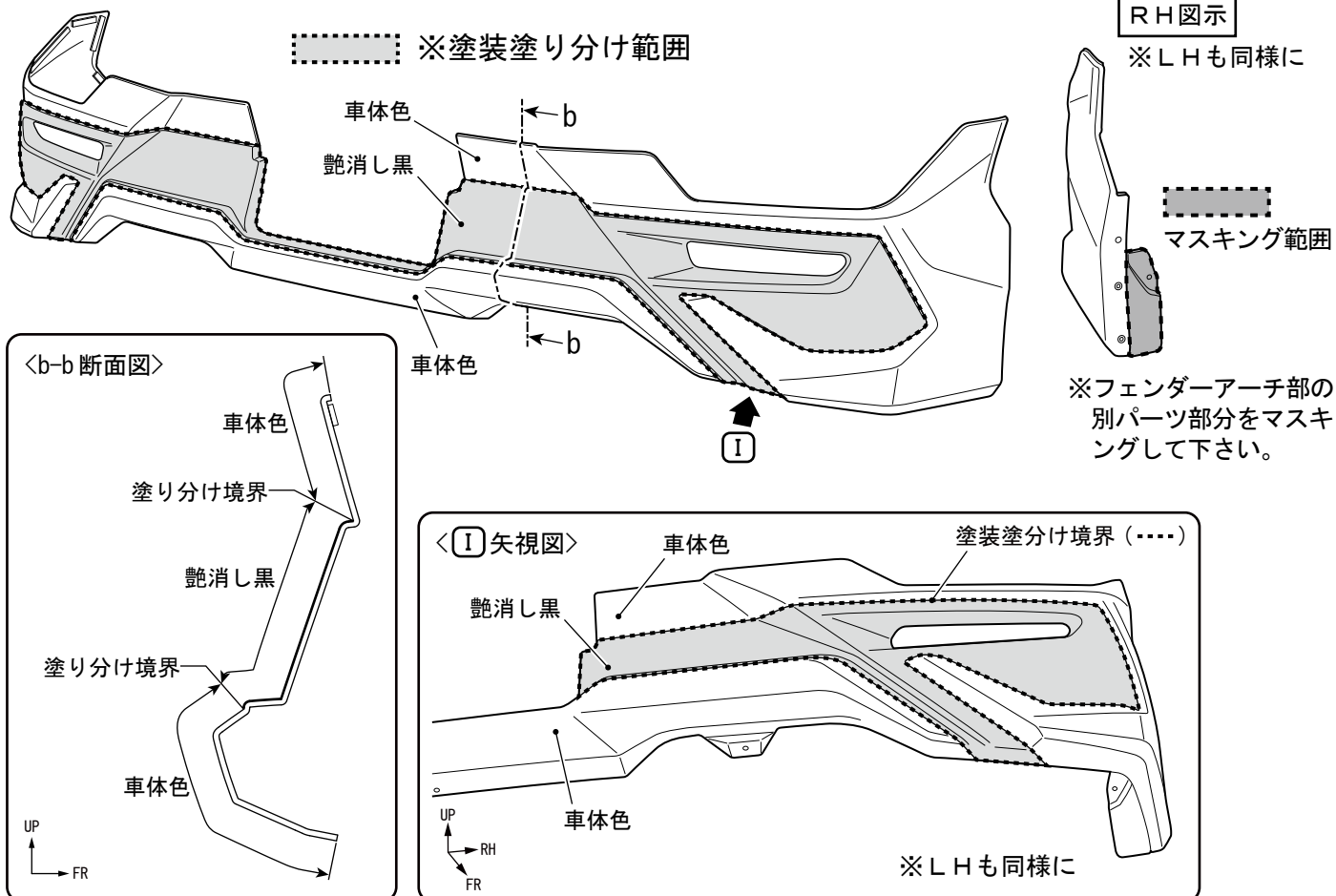
1. 塗装面の汚れ、ゴミ、ホコリをウエスで取り除き、必ず脱脂を行なう。
2. 製品に貼り付けてある両面テープをマスキングする。
3. プライマー塗装を行なう。

※本製品の素材は＜ABS＞です。

4. 上塗り塗装を行なう。
◎注記：上塗り用の塗料はウレタン系をご使用下さい。
5. 乾燥。
◎注記：乾燥温度は、成形樹脂の物性上、必ず60℃以下で乾燥させて下さい。

⑩エンドモール推奨使用色

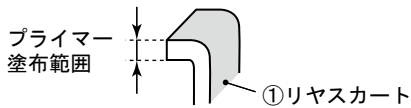
色番号	色名称	モール色
B82	レーザーブルークリスタルシャイン	ブラック
B86	ターコイズマイカメタリック	ブラック
R67	ファイアーオーツレッドメタリック	ブラック
R75	コンパノレッド	ブラック
S28	ブライトシルバーメタリック	ライトグレー
T32	ナチュラルベージュマイカメタリック	グレー
W25	シャイニングホワイトパール	ライトグレー
X07	ブラックマイカメタリック	ブラック
Y15	マスタードイエローマイカメタリック	ライトグレー



エンドモールの貼り付け作業

1. 塗装終了後、⑩エンドモール(以下モールと省略)を貼り付ける部分を脱脂し、⑧PACプライマー-K500を塗布する。

PACプライマー-K500塗布範囲



アドバイス

- ・⑧PACプライマー-K500は①リヤスカート取り付け時に再使用します。揮発性が高いので、速やかに袋に戻し揮発を抑えて下さい。
- ・⑧PACプライマー-K500は特に白色塗装面を黄変させますので、マスキングするか、はみ出したプライマーは、シリコンオフ等で拭き取って下さい。
- ・⑧PACプライマー-K500塗布後は、常温で10分間以上放置し乾燥させて下さい。

2. 下図の要領で⑩モールの貼り付ける。

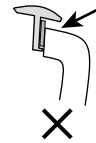
アドバイス

- ・モールの引っ張りながら貼ると、極端に剥がれやすくなります。絶対に引っ張りながら貼らないで下さい。
- ・モールは必ず奥まで差し込んで下さい。
- ・貼り付け後、十分に圧着して下さい。

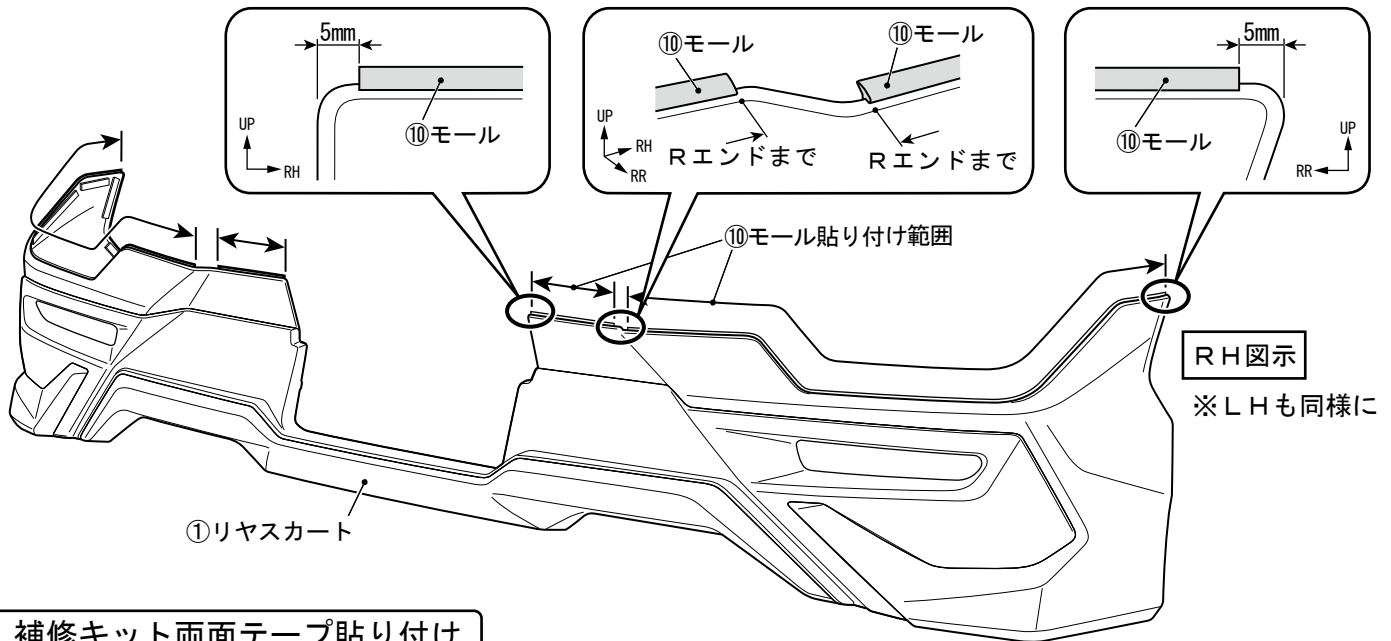
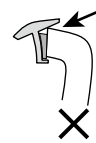
奥まで押し込む



隙間が空いている



傾いている

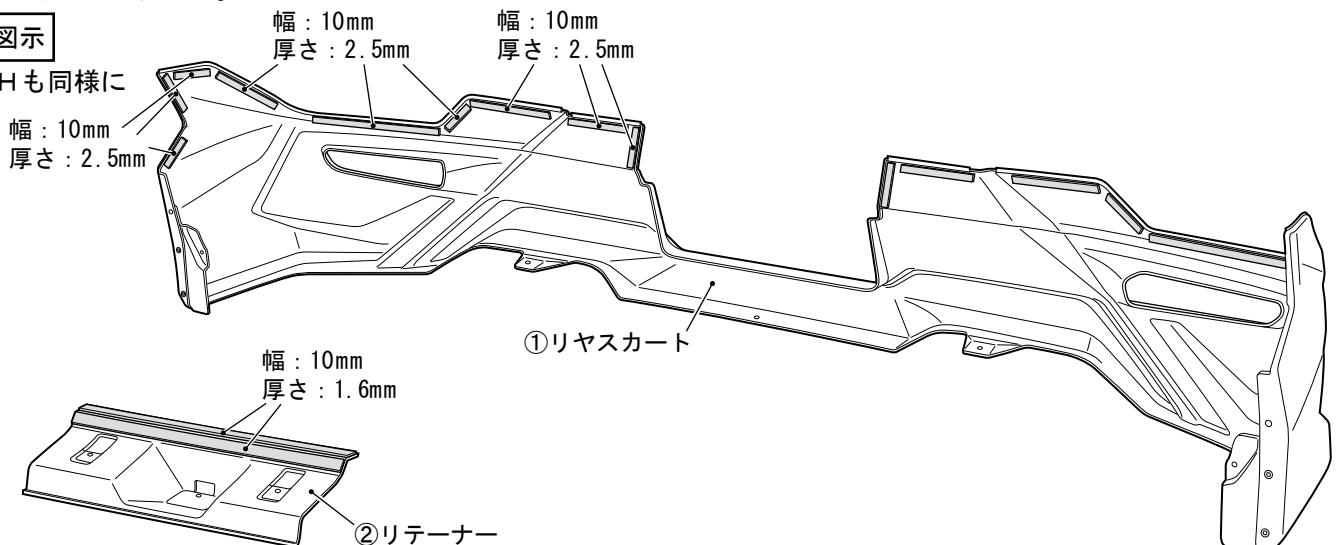


補修キット両面テープ貼り付け

1. 補修キットを使用してリヤスカートの再取り付けを行なう際は、下図を参考に両面テープを選択し貼り付けて下さい。

RH図示

※LHも同様に



脱脂作業要領書

本書ではエアロパーツ等を取付ける際の脱脂作業について記載してあります。
取付け前に必ずお読みいただき、正しい要領で脱脂作業を行ってください。

エアロパーツの取付け・脱脂作業の要領を
解説動画でご覧いただけます。
右のQRコードよりアクセスのうえ
ご確認ください。

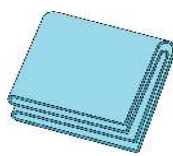


- ①エアロ取付準備・脱脂 (約3分)
 - ②エアロ位置決め・取付・圧着 (約6分)
 - ③デカール準備・水貼り・圧着 (約4分)
- 合計 約13分

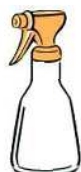
取付け時の脱脂作業に必要な工具等



水拭き用バケツ



合成セーム皮



脱脂剤用
スプレーボトル



ゴム手袋



DRY 用
ウエス




WET 用
ウエス




イソプロピルアルコール(IPA)
純度 70%程度を推奨
※純度 100%はモールを痛めるため
使用しないこと

脱脂作業上の注意事項

- ホコリ・チリ等のない換気の良い作業場で作業を行ってください
- 隣接する場所で、ワックスがけやポリッシュ作業等を行わないで下さい。
※飛散した油脂やワックス等の成分が車両に付着してしまいます。
- 脱脂剤を取り扱いの際は、眼・皮膚に触れないように保護具を着用のこと。
- 脱脂剤を取り扱いの際は、作業場に火気・熱源のないことを確認すること。
- 脱脂剤を取り扱いの際は、蒸気を吸い込まないように作業場内の換気に注意のこと。

 注 意・・・注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがあることを記載しています。

 アドバイス・・・スピーディーに確実に作業していただく上で、知っておいていただきたいことを記載しています。



使用禁止



ブレーキクリーナー
パーツクリーナー



ホームセンター等でキャンプ用
燃料用として販売されている
ホワイトガソリン〔白ガス〕

市販のブレーキ・パーツクリーナー及びキャンプ用品や燃料用のホワイトガソリンは
油脂分や不揮発性添加物が含まれているものがありますので使用しないで下さい。
コーティング剤の下地処理剤は、用途と異なるため脱脂作業には使用しないで下さい。
脱脂不足により、浮き・ハガレの原因となります。

★脱脂作業概要《重要》

◎【脱脂作業】とは、取付け面の表面に付着した油脂分を取り除き、両面テープの性能を十分に発揮させるための重要な下地処理です。

下地処理が不十分だと、両面テープの性能が著しく低下して、浮き・ハガレ脱落などの不具合を起こす場合があります。

大変に重要な作業となりますので確実に行ってください。

◎ 脱脂剤は、取付け面に付着した油脂分を浮かび上がらせて、ウエスへの吸着を促す溶剤です。

脱脂剤で取付け面を拭いただけでは、十分な脱脂は行えません。

《脱脂作業前に》以降の作業要領を十分に理解したうえで作業を行ってください。

■ 脱脂作業前に

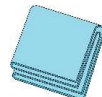
- 取付け面のホコリ・チリ等の汚れを十分な流水で洗い流す。
汚れのひどい場合は、洗剤を使用して汚れを落とし、洗剤を十分に洗い流すこと。
- 取付け面にコーティング等を施工されている場合は、除去剤・コンパウンド等を使用し除去してください。除去後、十分に水洗いを行ってください。
※コーティング剤が残っていると両面テープはハガれます。
- 水洗い後は、取付け面に付いた水滴を完全にふき取ってください。

■ 脱脂作業要領

- 取付け面の洗浄を行い、固く絞った合成セーム革等を使用し拭き上げて水滴をしっかりと取り除く。



水拭き用バケツ



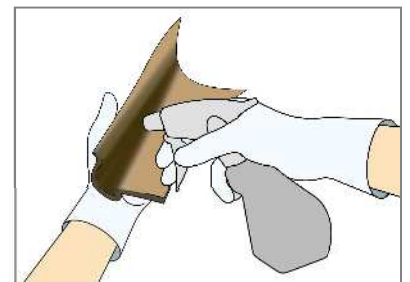
合成セーム皮

- スプレーボトルに入れた脱脂剤をWET用ウエスに吹きつける。



WET 用ウエス

※ ウエスは清潔なウエスを使用して、拭き上げ時にクズなどが出ない素材を選んでください。



WET 用ウエスにスプレーボトルを 5 cm ほど離して、初回は 10 回程度スプレーをして、ウエスが湿っている状態で取付け面を拭いてください。以降は WET ウエス表面が乾く前に追加で 5 回程度スプレーし、常に湿った状態を保つようにしてください。

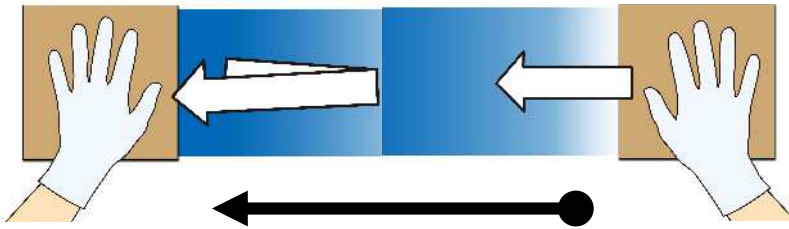
● 取付け面の脱脂作業を行う

①【WET 拭き】

脱脂剤を含ませたウエスで
1 往復で拭き油脂分を浮き上がらせる

②【DRY 拭き】

DRY 拭きウエスで一方向に
拭き上げ油脂分を取り除く



1 ブロック 60 cm 程度として両手に WET と DRY のウエスを交互に持ち
WET⇒DRY の順に拭き上げて脱脂する。

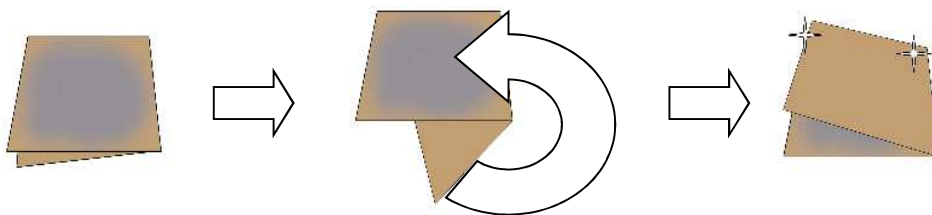
範囲が広い場合は 1 ブロック 毎を数回に分けて行い、仕上げに面を通して拭き上げる



WET 拭きのあと脱脂剤が乾かないうちに DRY 拭きで一気に拭き上げを
行ってください。

(上図のように両手にウエスを持ち作業を行うと素早く作業できます。)

DRY 拭き作業後に拭き上げた面に、拭き跡が残っている場合は油脂分が
残っていますので、再度 WET・DRY 拭きを行ってください。



WET/DRY のウエス共に 3~5 ブロック 毎にウエス表面を折り返し
ウエスの拭き取り面が常に清潔な状態で作業を行ってください。

汚れたままのウエスを使い続けると、ウエスに拭き取った油脂分が取付け面に
再び付着して、エアロパーツの浮き・ハガレの原因となります。

脱脂作業がしっかり行われている取付け面は、DRY 拭きを行った際に
ウエスへの抵抗が増して、拭き上げが重くなります。
作業前と作業後のウエスの抵抗感を目安に、脱脂を行ってください。

脱脂後の取付け面には、指などを触れないように作業を行ってください。

脱脂後は長時間放置せず、すぐに作業を行ってください。

チリ・ホコリ等が付着しないように、十分注意してください。
パーツの取り付け方法は、各パーツの取扱説明書ならびに取付要領書に
したがって行ってください。